

第三者意見

2011年の国連グローバル・コンパクトへの参加を機に展開された貴社のサステナビリティの取り組みは、10年後の節目に当たる昨年、長期ビジョンLSV 2030の導入に合わせて新たなステージに移行しました。新たに構築されたサステナビリティ推進体制では、各委員会が再編され「TCFD分科会」「ダイバーシティ・働き方改革促進分科会」が追加されるなど、それまでのCSR経営からサステナビリティ経営へと大きく軸足を移しています。その一環として、本報告書も「CSRレポート」から「サステナビリティレポート」へと装いを新たにしました。

最大の変化は、昨年度は統合報告書にだけ掲載されていた価値創造に係る全体像が本レポートにも登場したことです。名称は、長期ビジョンLSV 2030に掲げる重要方針を反映して、「社会課題解決ストーリー」となっています。社会課題、事業活動、マテリアリティとKPIなど、構成要素を関連させつつ一覧化した構図は、サステナビリティ経営の全体像を読者に伝えるうえで大きな役割を果たしています。特に、改定したマテリアリティをストーリーに組み込み、かつKPIと対応させたことで、社会課題の解決と企業活動を同期させる意図が明快になり、昨年度この欄で検討をお願いした者として大変喜ばしく感じました。

統合報告の必須アイテムである価値創造的な要素をこうしたレポートに取り入れると、サステナビリティ活動と本業の接続が強化されるメリットがある一方、統合報告書との役割分担が分かりにくくなる可能性があります。しかし、貴社レポートの場合、この懸念はトップメッセージを読むことで解消します。メッセージは、長期ビジョンの意義の確認と浸透を主題に置きつつ、全体を通して読み手としての従業員を強く意識していることがわかります。これは、貴社レポートの一貫した特徴であり、随所に、長期ビジョンを自分事として捉えて欲しいという従業員の皆さんに向けた想いが感じられます。

そう考えれば、サステナビリティ経営の全体像を、敢えて一般的な「価値創造ストーリー」ではなく、「社会課題解決ストーリー」と名付

株式会社日本政策投資銀行
設備投資研究所
エグゼクティブフェロー

竹ヶ原 啓介氏



けた理由も分かるような気がします。従業員には、本レポートで社会課題の解決を自分事（＝仕事）として捉えるよう訴える一方、投資家などには、統合報告により、長期ビジョンの残り二つの柱であるイノベーション、新商品・新事業を武器とする、社会課題の解決を通じた「成長シナリオ」を訴求する、という編集意図があるのではないのでしょうか。

全体像に続き、今号では、新たなサステナビリティ推進体制が詳しく紹介され、その一環として、昨年12月に設置されたTCFD分科会の成果を、ウェブと連携する形で早くも公表するなど、新体制が活発に動いている様子が伝わってきます。

今後については、今回提示された新たな方向性を一段と深める努力に期待したいと思います。トップメッセージで服部社長が言及されているイノベーションの重要性や、TCFD開示（ウェブ）で示された技術や市場に関する「機会」認識などを考え合わせれば、対峙する社会課題に重心は置きつつも、もう少しビジネス機会の観点を取り入れても良いと思います。また、早くから国連グローバル・コンパクトに加盟していた貴社らしく、人権についてもダイバーシティ推進に関するKPIを設定するなど、人的資本対応を充実させることも期待されます。幅広い企業活動をグローバルCSR報告の頁に示される多様な従業員の活動と結びつけることで、このレポートは社会課題の解決を通じた成長戦略を語りながらも、統合報告とはまた違った意味で貴社の価値を訴求する役割を果たせるのではないのでしょうか。

第三者意見を受けて

当社グループのサステナビリティに対する取り組みについて、高いご評価を頂きありがとうございます。

2021年度は長期ビジョン「LSV 2030」の実現に向けて全社員がこれを自分事として捉え、それぞれの立場で各施策を推進してもらえよう社内の理解浸透に時間を費やしました。

また、体制の構築をはじめとする推進の基礎もできましたので、今後はマテリアリティとKPI、そしてその達成に向けた諸施策などを長期ビジョンと有機的に結びつけ、事業活動を通じた社会的課題の解決ストーリーとして明確化することで、さらなる成長とサステナブル社会の実現に貢献していきたいと考えています。サステナビリティ経営を推進していくに当たっては、あらゆるステークホル

ダーからの要求の変化に適応した施策の見直しや情報開示にも積極的に取り組んでいきます。

今後も社は「至誠と創造」を経営の根幹に据え、全社員一人ひとりが創意工夫と努力を積み重ねながら、当社グループの存在意義につながる長期ビジョンの実現に向けて一丸となって邁進してまいります。

リンテック株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

服部 真